

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	非平衡過程の実空間観察手法の転換:TEM による溶液からの核生成過程の解明
研究代表者	木村 勇氣 (北海道大学・低温科学研究所・准教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究は、高感度検出器を備える透過型電子顕微鏡その場観察において、溶液から前駆体を経て結晶ができるまでの核生成過程の一部始終を、機械学習による核生成領域の推定を組み合わせることで可視化するものである。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>全ての材料創製の鍵となる核生成における鍵ファクターを明確にし、核生成の理論モデルの構築につながることを期待できる。</p>